



## KJ法を活用したワークショップから 質的調査の基本を学ぼう！

KJ法はワークショップやブレインストーミングなどに応用され、広く活用されています。文化人類学者川喜田二郎氏によって創案された発想法です。昨今、地域診断、ワークショップ、インタビューのまとめ、グループワーク、アンケートの項目づくり、業務改善、リスクマネジメントや商品コンセプトづくりなど多角的な面からの意見集約と構造化に有効です。この講座ではKJ法の手法の基礎的な方法を学び、実際にワークショップを体験し、質的調査の基本を同時に修得することを目的とします。

日時	令和6年8月10日(土) 10時00分～16時00分
講師	県立広島大学 保健福祉学部保健福祉学科 人間福祉学コース 教授 田中 聡子
会場	サテライトキャンパスひろしま 504 中講義室 (広島市中区大手町 1-5-3 広島県民文化センター5階)
対象	社会福祉関連職およびマネジメントやワークショップに携わる方
定員	20名
受講料	1,000円
申込締切	令和6年7月24日(水)
問合せ先	県立広島大学三原地域連携センター 公開講座係 〒723-0053 三原市学園町1-1 電話：0848-60-1120 (平日9時00分～17時00分) FAX：0848-60-1134 メール：mrenkei@pu-hiroshima.ac.jp

※講座の詳しい内容と申込方法は、2ページをご覧ください。

令和6年度公開講座「KJ法を活用したワークショップから質的調査の基本を学ぼう！」

	1	KJ法の概論とブレインストーミングの方法まとめ方としての図解化とプレゼンテーションまでを学ぶ	田中 聡子
内容	<p>KJ法には、データを収集、あるいはアイデアを発散させる技法があります。ブレインストーミングの方法としての「パルス討論」は会議討論法の1つです。テーマに沿って実際にパルス討論を体験します。課題解決のための活用方法として構造的にまとめる「探検ネット」、論点整理をするためのKJ図解やプレゼンテーションまでを体験します。探索的な方法としての質的調査の基本的事項、対象者の選定、データ収集方法、分析方法とプレゼンテーションまでの基本的な知識とスキルを取得することを目的とします。</p>		
受講条件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 講座の受講にあたって、マスクの着用は個人の判断にゆだねます。</li> <li>・ 飛沫感染を防ぐために、受講者間の会話はできるだけ小さな声で、短時間のうちに済ませるようお願いします。</li> <li>・ 咳やくしゃみの際には、咳エチケットにご留意ください。</li> <li>・ 熱がある場合、風邪症状がある場合、だるさや息苦しさなど普段と体調が違うと感じる場合、出席をご遠慮ください。</li> </ul> <p>※お申し込みの方は受講条件にご承諾いただいたものといたします。</p>		
申込方法	<p>下記の県立広島大学ホームページ上 URL「申込フォーム」またはQRコードからお申込みください。</p> <p><a href="https://www.pu-hiroshima.ac.jp/ques/questionnaire.php?openid=906">https://www.pu-hiroshima.ac.jp/ques/questionnaire.php?openid=906</a></p> <div style="text-align: center;">  </div> <p>※申込の方へ受講案内をメールで通知します。メールフィルター設定をされている場合は、@pu-hiroshima.ac.jp ドメインからのメールを受信できるよう設定をお願いします。</p>		

県立広島大学 三原地域連携センター